

絵描き井上ヤスミチの 4月4日なものが すきでして... (11)

めずらしく ちゃんごみの話

2016年の秋からごみっと・SUNの表紙イラストを、2020年からはエッセイも書かせていただいている井上ヤスミチです。いつもはごみと関係ないことを書いていますが、今回はめずらしくごみの話、半年間で違う自治体での「プラごみ分別開始」を2回経験したことについて書いてみます。

去年の暮れに豊島区から隣の板橋区へ引越しました。引っ越し2ヶ月前の10月から、豊島区がプラごみを分別して資源として回収し始めました。そしてプラごみ分別に少し慣れた12月末、板橋区に引っ越しました。

板橋区はまだプラごみは可燃ごみ扱いだったので、プラを分別しない生活にいったん戻りました。

ところが板橋区でも今年の4月からプラごみの分別・資源化が始まるとのこと、数カ月後に再びプラごみを分別する暮らしがはじまったというわけです。

幸い両区ではごみの分別にあまり違いがなくそれほどの混乱はなかったのですが、些細な違いでもやはり慣れるまではなかなか面倒に思う部分も多く、ごみというのは生活の一部なのだなど改めて感じた次第です。下の表のとおり、昨年未まで住んでいた豊島区南長崎と引っ越し先の板橋区若木では、当然回収する曜日が違って少し混乱しました。

我が家は野菜くずはコンポストで堆肥にしているので生ごみは魚の骨や卵の殻くらいで多くなく、燃えるごみからプラごみを引いたら残るものはけっこう少ない印象です。

一方でプラごみは、5人家族で食材を買う量が多いので食品トレイやプラ包装の量が多く、一週間で45リットルごみ袋がパンパンになります。

板橋は現状では可燃ごみが週に3日、プラごみが1日ですが、資源として分別されたプラスチックの量が増えれば2日ずつになったりとか、変化があるのかな。しかし可燃



ごみは生ごみや紙おむつなど臭いが出るものがあるし、収集日を減らすのは大変かな。

僕の住む地域は月曜が資源回収の日で、びん・かん・ペットボトル・段ボール・古紙・プラごみと盛りだくさん。まだ浸透していないプラ分別ですが、今後プラを分別する人の割合が増えればごみ置き場がてんこ盛りになりそう。

分けてみたら、思ったよりもずっと多かった我が家の日々のプラごみ。膨大な区民全体のプラごみをプラスチックの種類ごとに分別～再生なんてできないだろ、コストとれただけかかるんだ、結局集めたプラごみを埋めてるんじゃないのか、などと僕は当初疑っていたのです。

でも、検索したり人に聞いたりしていく中で、そもそも都民の可燃ごみの焼却灰を埋め立てるためのスペースが足りなくなりそうだというのがプラの分別、資源化を始めるきっかけだそうで、集めたプラごみを埋めてるっていうことはまずなさそう。

ごみっと・SUNを読むかたなら皆ご存知なのでしょうが、一部の再生しやすい種類のプラは再生され、そうでないものもひっくるめて燃料などになっているそう。製鉄などで使われる、燃焼時に得られるエネルギーが高いコークスという燃料を作るのにも使われていたりするそうで、プラごみの行方や資源化をもうちょっと調べてみたいなと思いました。

最後に、イラストレーターとして気になっちゃったどうでもいい微細なことを一つ。

板橋区のサイトの「資源として回収するプラスチック」というページに下の図があります。「カップめん」と記されたカップラーメン容器のイラスト、文字は赤で上下に黄色い点線。この配色は明らかに日清カップヌードルの配色なんだけども、カップヌードルはプラ容器じゃなくて紙容器なので、プラごみじゃなくて燃やすごみだよな。...と書いて、原稿をごみっと編集長に渡したら「私の暮らし小金井市ではきれいに洗えば『難再生古紙』として拠点回収をして資源化しますよ」と言われました。ややかしい!



井上ヤスミチ <http://yasumichi.com>

僕の引越し前後の一週間のごみの分別表

～2023年10月 豊島区	月:びん・かん・ペットボトル・トレイ	火:古紙・古布	水・土:可燃ごみ	隔週木:不燃ごみ
2023年10月～ 豊島区	月:びん・かん・ペットボトル・トレイ	火:古紙・古布・ <u>プラごみ</u>	水・土:可燃ごみ	隔週木:不燃ごみ
【昨年末に豊島区から板橋区へ引越し】				
～2024年4月 板橋区	月:びん・かん・ペットボトル・古紙		火・木・土:可燃ごみ	隔週水:不燃ごみ
2024年4月～ 板橋区	月:びん・かん・ペットボトル・古紙・ <u>プラごみ</u>		火・木・土:可燃ごみ	隔週水:不燃ごみ